



SUSTAINABILITY  
OUR MOST IMPORTANT DESIGN

**TIFFANY & Co.**



「ティファニーは、社会的かつ環境的に責任ある方法で、  
貴金属および宝石を調達するよう力を尽くしています。  
それは正当な行動であり、お客様もそうした努力を期待しているのです。」



マイケル・J・コワルスキー  
ティファニー・アンド・カンパニー 会長兼CEO



*Laelia*



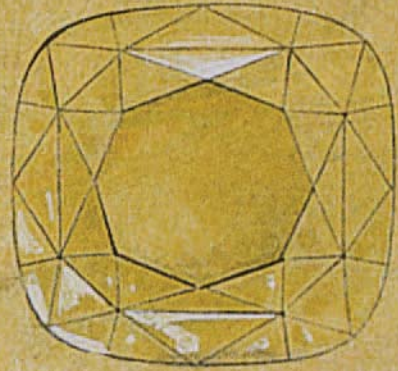
## スタイリッシュでサステナブルなデザイン

1837年の創業以来、なによりもまず自然界の美しさに、ティファニーはデザインインスピレーションを得てきました。そして、私たちのデザインに形を与え、命を吹き込む貴重な素材についても、豊かな自然の恵みを活用しています。花やエキゾチックな鳥をモチーフにしたジーン・シュランパーゼーの幻想的なデザインから、独特なスタイルで表現されたエルサ・ベレッティのスターフィッシュやピーン、アップルまで、ティファニーの代表的な作品の多くに自然の力が息づいているのです。

言うまでもありませんが、ティファニーはジュエラーとしての立場から、環境保護を企業としての責務と倫理的な義務として大切に考えています。自然界の美しさを守り、自然が与えてくれる資源を責任を持って使用しながら、ティファニー独自の美意識を具現化した時を越えるデザインこそ、私たちがめざす「サステナブル スタイル（永続的なスタイル）」。それは、ティファニーに関わるすべての人の中で、とりわけお客様になによりも期待されているものです。

これまでさまざまな貢献を行ってきましたが、私たちにはまだ数多くの課題があります。私たちの成果と継続的な取り組みを皆様にご紹介し、今後もその歩みをご報告していきたいと思えます。





「ダイヤモンド原石の調達、ISO (国際標準化機構) 規格を満たす管理網の導入、  
研磨工場に対する環境的・社会的基準の適用において、  
その管理を強化するティファニーの取り組みは、  
大手ダイヤモンド小売業者や製造業者が見ならうべき模範を示している。」



グローバル・ウィットネスの進捗報告書より



## 健全な原産地の確保

環境に配慮した社会的に責任ある方法で採掘、加工され、ジュエリーに仕上げられる貴重な素材を入手する困難さと複雑さを、ティファニーは昔から認識してきました。この問題に最も適切に対応するために、ティファニーの製品に使用されるすべての素材について、その原産地を明確に把握することをめざしています。



## ダイヤモンド

ティファニーのダイヤモンドは、主に3つの地域から産出されたものです。最大の産地であるカナダ北極圏では、3カ所のダイヤモンド鉱山とダイレクトに供給契約を結び、現地でカットと研磨を行っています。他にアフリカとロシアからも購入しています。ダイヤモンドをより安定して入手するために、私たちは子会社としてローレルトン・ダイヤモンドを設立し、世界的なサプライチェーンを管理しています。それは原石の調達から、カット・研磨を施した美しいダイヤモンドをティファニーに供給するまでの幅広いものです。その一環として、ダイヤモンドのカットや研磨を行う自社工場、宝石研究室を運営しています。

キンバリー・プロセス証明制度は、国際的な共同監視システムとして、武力闘争の資金調達のために紛争地域から違法に運び出された「紛争地産ダイヤモンド」の流入を防ぐために制定されました。ダイヤモンド原石の輸出入を厳しく管理すること、原石を取引する民間企業の管理制度を確立することを、キンバリー・プロセスはその参加国に対して義務づけています。この制度にしたがって、参加国間を移動するダイヤモンド原石は封印されたコンテナに積載され、紛争地産ダイヤモンドではないことを証明する書類が添付されます。ティファニーがダイヤモンドを購入するのは、キンバリー・プロセス証明制度に参加している国に限られているのです。

## ダイヤモンド (続き)

キンバリー・プロセス証明制度の設立に向けた各国政府、ダイヤモンド業界、そしてグローバル・ウィットネスやパートナーシップ・アフリカ・カナダなどのNGOの活動を、ティファニーは高く評価しています。そして、2003年の施行以来、ダイヤモンドをめぐる状況が改善していることを心強く思っています。

しかしながら、この制度にはまだ多くの課題が残されており、ティファニーはその強化に力を尽くしています。すべての参加国で実施されるミニマム コントロールの整備、ダイヤモンド原石の輸出入モニタリングの厳格化、業界のコンプライアンスをより客観的に評価するための監査システムの確立などは、そのなかでも重要なものです。さらに、ダイヤモンドの産出や取引に関する統計報告の透明性を高め、キンバリー・プロセスの活動をサポートする恒久的な財源の確立についても、ティファニーは大きな支援を行っています。



## 漂砂鉱床でのダイヤモンドの採掘

河川などに鉱物を含んだ砂や土が堆積してできる漂砂鉱床。

広範な地域での熟練した鉱夫による簡素な道具のみでのダイヤモンド採掘は、社会的にも環境的にも大きな課題となっています。アフリカのダイヤモンド漂砂鉱床では、100万人の熟練鉱夫が雇用されているといわれています。

採掘活動はダイヤモンドの輸出国にとって雇用を創出するとともに、きわめて貴重な収入源となるものです。そのため、環境への影響を最小限に抑え、労働者の努力にふさわしい正当な報酬を確保する漂砂鉱床プロジェクトを、ティファニーは積極的に支援しています。また、土地への影響が少ない方法で、鉱床をより効率的に発見するため、労働者に地中探知レーダー技術を提供する取り組みも進めています。



820



Chicago E.

## 貴金属

ティファニーのジュエリーに用いるゴールドとシルバーは、その大部分をアメリカの一鉱山から産出しています。この鉱山では、持続可能で、環境に配慮した運営がなされています。採掘された貴金属は、ティファニーの加工施設で精錬・加工されたのち、自社または提携の製造工場へ送られます。

厳密なコントロールと完璧な透明性を確立し、それを保つことは、ティファニーの採掘における基本的なポリシーです。これほど充実した管理システムを構築しているのは、世界でもごくわずかなジュエラーといえます。



### 採掘活動についての考え方

ティファニーは次の信念を持っています。

新しい鉱山開発は、生態学のおよび文化的に高い価値を持つ土地で行わない。

■  
大気・水質汚染は最小限に抑える。

■  
鉱山開発では、地域社会への情報開示と住民参加の原則にしたがう。

■  
すべての関係者が、基本的人権を尊重する。

■  
鉱山事業者は、廃鉱とクリーンアップ（浄化・後処理）の費用として、適切かつ十分な資金的保証に備える。

■  
鉱山の廃棄物は、河川、湖、沿岸水域に投棄しない。

## 宝飾業界やNGOとの協力

ティファニーが世界を代表するジュエラーであっても、私たちだけで鉱業界に大きな影響を与えることはできません。しかし、私たちには実例を示して導く責任があり、それによって宝飾業界全体の改革を促すまたとない機会となるのです。そのため、私たちは宝飾業界の先見的なリーダーやNGOと協力しています。

安全で環境的に責任ある採掘活動を推進するために、貴金属の生産者や宝飾業者、宝飾業界団体、アースワークスやオックスファムなどの熱意あるNGOと密接に活動し、そのなかでティファニーは主導的な役割を果たしてきました。

2003年、ティファニーは複数の組織と共同で、責任ある採掘活動に関する国際会議を開催し、NGO、小売企業、投資家、保険会社、技術専門家などが最良の方策について話し合いました。その成果として、NGO、小売企業、市民団体、鉱業界などによる、「Framework for Responsible Mining: A Guide to Evolving Standards（責任ある採掘の枠組み合意：変化を続ける基準の便覧）」が発行され、実りある討議に加え、それを実現する行動の推進が目標に掲げられました。



環境的、社会的に好ましくないゴールドを排除する、“No Dirty Gold”キャンペーンに、ティファニーはいち早く取り組んだジュエラーでもあります。このキャンペーンは、宝飾業者が信頼できる鉱山や採掘業者を選択できるように、ゴールドの採取についてのより高い基準を定めています。

さらに、政府やNGO、市民団体と協力して紛争地産ダイヤモンドの不正取引撲滅を推進する業界団体ワールド・ダイヤモンド・カウンシルの活動を、私たちはその設立当初から積極的にサポートしています。ティファニーは紛争地産ダイヤモンドの取引根絶に主導的役割を果たし、その活動は業界の目標として評価されています。

## 倫理的な事業活動の推進

強力なリーダーシップこそ、長期的な責任を果たす証しであると、私たちは信じています。ティファニーは、Council for Responsible Jewellery Practices（責任ある宝飾業実践のための協議会）の創設メンバーです。この協議会は、原産地から店頭まで、宝飾業界全体の透明性と説明責任を徹底し、責任ある事業活動の推進を目的とした広範な取り組みを展開しています。これからも率先して、私たちはその活動に全力を傾けていきます。

## アメリカ西部の硬岩採掘におけるスタンス

アメリカ国内において、ティファニーは1872年に制定された「General Mining Law（一般採掘法）」の改正を支持し、廃坑となった硬岩鉱山のクリーンアップ（浄化・後処理）を推進する法律の制定を求めて活動しています。

多く環境団体や鉱業界、議会とともに、私たちは連邦鉱業法の見直しの遅延を懸念しています。また、鉱業法改正には、開かれた透明なプロセスのなかで、厳しい努力と交渉、歩み寄り、創造力が必要であると考えています。

公有地での採掘は特別なことであり、保養地にしたり、土地を保全するなど、別の活用法について慎重に検討する必要があります。なにより重要なのは、場所によっては資源としての採掘に適さず、保養や保全としての価値がはるかに高い場合があることです。

法改正が実現すれば、納税者は公有地で採掘される鉱物にふさわしい適正な補償を受け、環境保護が強化されるのに加え、鉱業に依存する企業や地域社会にとってもより良い発展が望めるものと確信しています。

環境的にも文化的にも重要な土地での不適切な鉱山開発に対して、ティファニーは積極的に反対を唱えてきました。私たちはこれからもその姿勢を守り続けていきます。

アメリカ西部の廃鉱に残された有毒物質についても、ティファニーは強い関心をもっています。現行法のもとでは、採掘による汚染の当事者でなくても、政府機関やNPO、民間組織などが自主的にクリーンアップ（浄化・後処理）を行うことができます。彼らが廃鉱の効果的な清浄化処理を進め、またその恒久的な財源を確立できるように、ティファニーはこれらの慈善団体を支援しています。

## ビルマ産の宝石における基本的な姿勢

世界で最も魅力的な宝石に数えられるルビー。しかし、最高品質のルビーの多くは、人権侵害が指摘されているミャンマー（旧ビルマ）で産出されています。この問題への対応として、2003年にアメリカ政府は「Burmese Freedom and Democracy Act（ビルマの自由と民主主義法）」を施行し、ビルマからのルビーの輸入を禁止しています。

ビルマで採掘されたルビーでも、他の国でカットや研磨されたものであれば、法律上は輸入することが許されています。ティファニーは法律とその精神を尊重する数少ないジュエラーとして、こうした法の抜け穴を利用することなく、ビルマ産と確認できるルビー、ジェダイト、スピネルを決して購入しません。

## 海洋生態系への注力

珊瑚は昔からファイン ジュエリーに用いられてきました。しかし、過去6年間にわたって、私たちはこの貴重な素材をコレクションに使用することを拒んでいます。こうした姿勢をとっているのは、実際にはジュエラーの中でティファニーだけです。珊瑚が絶えることなく採取できると確信し、海洋生態系を脅かさないことが明確になるまで、私たちはこの慎重な方針を守り続けていきます。





## より高い基準での運営

「サステナブル スタイル」を追求するティファニーの情熱は、ジュエリーに優雅な輝きを与える宝石や貴金属だけにとどまりません。ビジネスパートナーに求める基準から、使用する紙、省エネルギーの努力まで、その幅広い率先した取り組みに、私たちの事業のあり方が表れています。

### ベンダーとサプライヤーのモニタリング

ダイヤモンドのカットと研磨から、金属の精錬、ジュエリー製作、流通までの全域にわたって、ティファニーの自社施設は業界の最も高い基準で運営されています。ベンダー（原材業者）とサプライヤー（供給元）を評価する基準も、同じように厳しいものです。私たちは多角的な Social Accountability Program（社会的責任プログラム）を策定し、そこには使用する材料の生産における包括的なガイドラインが含まれています。これらはすべて、ティファニーの誇る高い基準をベンダーとサプライヤーが厳守することを目的としています。

### 紙と包装材

包装やカタログに使用する紙の90%以上を、Forest Stewardship Council（森林管理協議会・FSC）で認証された森林から得ることが、ティファニーの企業目標です。この森林は、厳しい業界基準にしたがって管理・伐採されることで、持続可能な状態が保たれます。また最近、回収紙を30%含む、新しいグレードのFSC認証紙の開発に、私たちは大きな影響を与えました。季刊のセレクションカタログは、この紙を用いて印刷しています。さらに、ティファニーが販売および使用する社名入りのステーションナリーには、100%再生コットン紙を使用しています。

### 省エネルギー

ティファニーはブティックやさまざまな施設で、省エネルギーに取り組んでいます。その一環として、ニュージャージー流通センターに2基の大型業務用ソーラーシステムを導入しました。

PITCHER #5643

42



## ティファニー財団

教育支援や芸術振興に加えて、ティファニー財団は環境に関連する分野にも重点をおいています。

### 責任ある採掘活動

環境への影響を最小限に抑えながら、宝飾業界の貴重な宝石・貴金属に対するニーズを満たす責任ある採掘活動の枠組みづくりに、多くのNGOが力を尽くしています。ティファニー財団は、そうしたNGOの取り組みを支援しています。

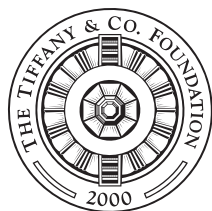
### 珊瑚礁の保全

ティファニー財団は、乱獲、沿岸開発、地球温暖化の影響による珊瑚礁の破壊を食い止めるための研究や地域主導の活動を、支援しています。

### 土地保全

ティファニー財団は全国および地域レベルの両面で、土地保全活動を支援しています。とりわけ都市部の広場を守る取り組みを積極的にサポートしています。





## ティファニー財団の活動

### 主な助成先

#### SKYTRUTH スカイトゥルース

人類の活動、とりわけ鉱業が環境に与える影響をより詳しく把握するために、人工衛星によるリモート・センシング（遠隔探査）とデジタル マッピングの活用を支援しています。

#### TROUT UNLIMITED トラウト・アンリミテッド

ユタ州のアメリカン・フォーク・キャニオンにおける廃鉱の流域環境回復プロジェクトの成功を踏まえ、アメリカ西部地域で鉱山廃棄物が投棄されたまま「野ざらし」になっている流域を回復させるための取り組みを支援しています。

#### FOUNDATION FOR ENVIRONMENTAL SECURITY AND SUSTAINABILITY

#### 環境安全保障および持続可能性財団 (FESS)

シエラレオネのダイヤモンド漂砂鉱床における採掘に関連した、社会的かつ環境的な問題を解決するプログラムの開発と実施を支援しています。

ティファニー財団に関して、詳しくはウェブサイトをご覧ください。

[www.tiffanyandcofoundation.org](http://www.tiffanyandcofoundation.org)



「ティファニー財団の支援を得て、トラウト・アンリミテッドは、廃鉱によって悪化した流域環境を清浄化する方法を開発しました。これは現在、他の組織や地域社会のモデルとなり、法制化の焦点にもなっています。」

クリス・ウッド トラウト・アンリミテッド  
環境保全プログラム担当ヴァイス プレジデント

「自然は私たちの最高のデザイナーである」



ジョン・ローリング

ティファニー・アンド・カンパニー デザイン ディレクター



本出版物に掲載されているジュエリーと図版は、  
ティファニー・アンド・カンパニー アーカイブと  
現在のコレクションから抜粋しています。  
そのいずれも、ティファニー デザインの主要なテーマである  
自然にインスピレーションを得ています。

© TIFFANY AND COMPANY, 2007